



キッズだより

令和7年8月 第41号
たかといちどいキッズ

♪ やまびこさん まねっこさん やっほー よほほほほー
えっへへへへ まねするな ♪

このうたは、『やまびこっこ』という歌です。4月頃、新入児の子どもたちと一緒にわらべうたや童謡を歌っていました。保護者の方から「家では『やまびこっこ』を楽しそうに歌っています。」と聞きました。「お！これは、良いヒントをもらったぞ。」と、早速歌詞を調べて歌ってみました。すると「え？なんでそのうた、知っているの？」というような顔をして、にこっと微笑んでくれたのです。毎日のように歌っていると、他の子どもたちもその歌が好きになり、「まねっこさんしよ～」と誘いに来るようになりました。子どもと一緒に歌っている時間が、私にとって癒しの時間になっています。次は、どんな歌を歌おうかなと考え中です。ご家庭で楽しんでいる歌があれば教えてください！参考にさせていただきます。

先月はお忙しい中、個別懇談の時間を作ってくださり、ありがとうございました。保育園での様子を伝えるだけでなく、ご家庭での様子を聞かせていただくことができ、とても貴重な時間となりました。会話の中で、「保育園では食事は完食。お昼寝もしている。なぜ家では…？」という質問がありました。子どもにとっては、習慣がすごく大切で、毎日の生活の流れが身に付くと自主的に行動するようになります。午前中は、全身を動かして楽しんだり、なぐり描きやシール貼り、製作などをしたりして、動と静のバランスをとりながら過ごしています。楽しく遊んだ後は、お腹が空きます。友だちや保育士と一緒に食事をします。食事の時には、「今日は、たくさん遊んだね」「おいしいね」「にんじん入っているね」「ぱくぱく食べてすごいね」など様々な言葉をかけています。楽しい雰囲気の中で食事をすることで、食欲も湧いてきます。お腹いっぱいになった後は、眠ります。自分の場所（コット）を見つけ横になります。抱っこをしたり、子守唄（子どもの好きな歌など）を歌ったりすることで、安心して眠っています。家ではどう過ごしていますか？車や自転車に乗ってお出かけ。（歩かない）商業施設や遊べる施設で過ごす。（子どもにとって刺激が強すぎる）食事は、子ども1人で食べていませんか？一緒に食べていますか？（汚れると困るから先に食べさせて大人は後。または、何か用事をしている）

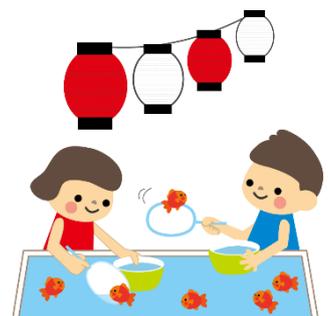
貴重な休日の過ごし方、お出かけすることも楽しいですが、家でゆったりと過ごしてみたいかでしょうか？

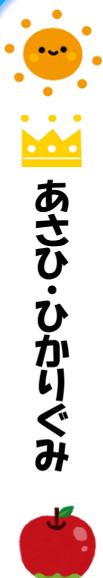
北坂 美知子

8月の予定



誕生会	6日（水）	救急訓練	7日（木）
避難訓練	18日（月）	発育測定	21日（木）
救急訓練	25日（月）	避難訓練	28日（木）





あけく・つたつて

7月は寒天や氷など様々な感触あそびを楽しみました。寒天あそびでは初めての感触に驚き、触ることを拒む子どももいました。保育士も一緒に遊びながら、少しずつ慣れるように指先で触れるところから始めました。そのうち興味をもち、手で握ったりマッシャーでつぶしたりして楽しんでいました。氷あそびでは、丸い氷に興味津々でした。触ってすぐ、冷たくて手を離していましたが、嬉しそうな子どもたちの表情が可愛らしかったです。今後も様々な感触あそびをたくさん取り入れ、五感を使って楽しめるようにしていきます。

靴下や帽子など自分で引っ張って脱ごうとする姿が見られるようになってきました。援助しながら認める声を掛け、着脱に興味をもてるようにしていきます。



つたつて

戸外から帰ってきた時や食事前など、自分から手洗い場へ行くようになりました。「ごしごししようね」と声をかけ、保育士が手を洗う姿を見せたり、手を添え援助したりすると、真似をして手を動かしています。「きれいになったね」と声をかけると、子どもたちは嬉しそうに手を見せています。自分で洗おうとする姿も見られるようになってきました。その姿を認め、傍で見守ったり、洗い方を伝えたりしています。丁寧に手洗いすることが習慣づくよう、引き続き援助していきます。

今月は、寒天、泡、春雨など、様々な素材に触れる機会を作り、感触を味わって遊ぶことを楽しめるようにしていきます。



あけく・つたつて

日差しが強く、暑い日が続いていますが、子どもたちはとても元気です。水遊びは、冷たさを感じ喜ぶ子どももいれば驚いて慎重に遊ぶ子どももいました。繰り返し水に触れる機会を作り、「冷たくて気持ちいいね」「楽しいね!」と気持ちに寄り添うことで、水で遊ぶことが大好きになりました。また、氷を用意すると、手に取ってつるつるする感触や冷たさを感じ、溶けた時には「ちいさくなった」と形が変わる様子に気づき、楽しんでいました。これからも様々な素材に触れ、子どもたちが感じたことや気付いたことに共感していきます。

自分から「ばいきんいるね」と意欲的に手洗いに向かうようになってきました。8月は丁寧に手洗いができるよう、傍について声をかけたり手を添え援助したりしていきます。





12ヶ月



先月はスプーンの持ち方など、マナーを意識して食事するよう声をかけました。持ち方を一緒に確認したり手を添えたりすると、子どもたちは下手持ちや3点持ちで食事していました。上手持ちになることもあるので、その都度声をかけるようにしています。また、持つ手に意識がいき反対の手は膝に置いたままです。「手は皿に添えようね」と声をかけると、子どもたちは手を添えたり持ったりしています。引き続き一緒に食事する中で、マナーを知らせたり確認したりし、スプーンの持ち方などを意識することが習慣づくようにしていきます。

今月もまだまだ暑い日が続くと思いますが、サーキット遊びやストップゲームなどを取り入れ、室内でものびのびと体を動かして楽しめるようにしていきます。



《身近な食べ物を知ろう！遊ぼう！》



5月末からたかとりちどり保育園のにじ組と一緒に、ナスを栽培しています。水やりや観察をし、収穫して食べることで、食べ物への関心が深まってきました。様々な野菜や果物などを知って好きになれるように、イラストカードでクイズをして遊びました。子どもたちは、野菜に興味津々で、たけのこやねぎ、ほうれん草など、身近に見る機会の少ない野菜の名前も言えるようになりました。さらに、イラストカードから遊びを広げ、野菜や果物をさわったり、野菜スタンプをしたりして楽しみました。

カルタ



野菜・果物の名前を聞いて、探し、取ることを楽しんでます。誰よりも早く取りたい気持ちが強くなっています。



クイズ



絵を描く



好きな野菜を決めて、色や形を本物と比較しながら描いていました。ぶどうの色を見て「むらさきいろ」と気付く子どもや「あおいろ」で描こうとする子どももいました。丸も上手に描いていました。

スタンプ



それぞれスタンプした形を見て、「おつきさまみたい」「きらきらぼしだ」と発見して喜んでいました。

一つひとつの遊びを思い切り楽しみ、会話をする様子がたくさん見られました。身近な食べ物を通して、名前を覚えるだけでなく、新たな発見をしたり、感じたことを言葉にして伝えたりする楽しさが味わえるようにしていきます。

白濱 優花